



2025年 4月 1日

株式会社 IHIプラント
社 長 青木 亮治

2025年度 安全衛生・健康管理方針

I. 基本方針

全社を挙げて計画段階から重大災害リスク回避に取り組む

II. 管理目標

1. 【安全衛生管理】

- ・ リスクアセスメントのプロセス構築状況 : 目標到達レベル2※¹以上
- ・ 全災害度数率 : 1.2未満
- ・ 休業災害 : ゼロ
- ・ 熱中症災害 : ゼロ

※¹ トライアルが完了し、リスクアセスメントが定着している状態。セルフチェック・監査等で評価。

2. 【健康管理】

- ・ 従業員エンゲージメント(活躍社員の割合増加) : 2%向上
- ・ 運動:「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上実施する人」の割合 : 1%以上増
- ・ 睡眠:「睡眠で休養が十分とれていると感じられる人」の割合 : 1%以上増

III. 重点施策

【安全衛生管理】

2027年度末までに危険源レベルA(就業不可)、B(障害残)の事象発生ゼロを目指す。

1. リスクアセスメント、リスク対応の強化を通じて、事故や災害の発生を未然に防ぐ。
(1)「危険源と作業の関わり」に着目したリスクの洗い出しと評価
(2)リスク対応判断への経営幹部の関与
(3)実施体制の確立、その他必要な経営資源の投入
2. リスクの洗い出しと評価に基づき、安全衛生ルールの見直し優先度を見極め整理を断行
(1)作業基準他ルールを整理し、優先順位を決め解りやすく見直す。
(2)ICTの更なる活用により、現場の負荷軽減に努める。
3. 「相互啓発型」組織の実現に向け、対話の継続と未熟練労働者のサポート強化
(1)店社と現場の積極的な対話活動より「相互啓発型」組織を目指す。
(2)協力会社との積極的な意見交換により安全に対する、共通認識を醸成させリスクの低減を図る。
(3)未熟練労働者に対しての教育や指導員によるケアを充実させ「危険予知レベルの向上」を図る。
4. 熱中症による災害撲滅
(1)現地の地域特性や気候変動に合わせた熱中症への注意喚起と事前準備を強化し
発症リスクの低減を図る。
5. 試運転時の管理体制強化による災害防止
(1)試運転計画において安全管理を充実させ、試運転チーム・工事チーム全体で共有を図る。
(2)現場における受電後、試運転開始後の体制と週間・日々の作業調整の手法を明確にする。
また現場における掲示による見える化を確実に実施する。
(3)試運転員への送り出し教育を充実させ役割と責任を明確にするとともに、現場において、
試運転チーム・工事チーム全体で試運転リスクの共有を図る。

【健康管理】

ウェルビーイングの基礎となる「労働安全衛生(健康管理)」「心身の健康づくり」をさらに固め、すべての人が働く喜びを感じられるための「働きやすさ」、「働きがい」を高めていく活動に攻守両面で取り組む。

1. 個人と組織の活力向上

- (1)心と身体の健康づくり(一人ひとりの主体的な健康づくりの推進)
一人ひとりが健康・パフォーマンス向上に資する新たな学び・気づきの機会を活用し、
睡眠・運動・禁煙等の自身の活力を高めるための生活習慣づくりを積極的に実践する。
- (2)働きやすさ・働きがいの向上(すべての人が働く喜びを感じられる職場づくり)
ストレスチェック、健康度調査、従業員意識調査等の結果に基づき、経営層ならびに職場との連携を
更に強化し、職場風土改善・改革に取り組みエンゲージメントの向上を図る。

2. 事業変革・環境変化に柔軟に対応できるヒト・組織づくりのための支援・体制の整備

- (1)健康リスクが高い個人、職場への支援・対策強化
- (2)職場のメンタルヘルス対策の強化による早期対応・復職支援

ご安全に！ ご健康に！